

平成 29 年度 鑑石園ショートステイ

事業報告書

1. 事業運営の概況

選ばれる事業所を目指し、行き届いた心遣いと丁寧なサービスを心掛けた。また、利用者様の満足度を高める為、レクリエーションとリハビリテーションの充実に努めた。

稼働率の向上を目標に置き、毎月居宅介護支援事業所を訪問して営業活動を行うと共に、他事業所の職員との交流の機会を活用し、コミュニケーションを図った。

衛生管理対策として、手洗い・うがいを励行し、感染症予防に努めた。

2. 事業計画実施状況

(1) サービスの充実

- ① 新規利用者様受入れの際は、相談員が作成したアセスメントを基に、ショートステイの全職員にご本人の状況を周知し、提供するサービスについて事前に検討を行った。
- ② 利用者様、ご家族、担当ケアマネジャーと話し合い、個々の利用者様について作成したケアプランに基づき、利用者様とご家族が満足できるサービスの提供に努めた。
- ③ ショートステイ利用中に起きた事故については、ただちにご家族に連絡し、事故の詳細と怪我の有無、受診の可否等について分かりやすく説明する等、誠意のある対応を心掛けた。
- ④ ご家族の都合により定時の送迎時間に伺えない時は、職員配置を工夫し希望の時間に送迎を行えるよう努めた。
- ⑤ ご家族との信頼関係を築く為、送迎時にご家族との会話を心掛けた。入所時には利用者様の心身の状態等を伺い、退所時には利用中の様子を口頭で報告した。またご家族の負担を考慮し、退所時には衣類を洗濯し、きれいな状態で返却するよう努めた。
- ⑥ 職員教育の一環として、特別養護老人ホームが行う内部研修に積極的に参加し、職員資質の向上を図った。
- ⑦ 利用者様の身体状況に合わせてベッドの配置を決める等、安全対策に努めた。また、施設職員、看護職員と連携し、見守りの強化を図った。夜間帯にはフットコールを設置し、転倒防止に努めた。

(2)稼働率の確保および維持

- ① 稼働率を向上させる為、各居宅介護支援事業所に空き情報を提供し、積極的に営業活動を行った。
- ② 空床時には緊急利用にも対応できるよう、ご家族とのコミュニケーションを重視し、臨機応変な対応を心掛けた。
- ③ 施設入所される利用者様が増加したことから、利用述べ人数 1,737 名、稼働率 59.5%と低迷した。

(3)機能訓練、レクリエーションの充実

- ① ケアプランに基づき、機能訓練指導員と介護職員が協働して生活リハビリを行った。またデイサービスと協力してレクリエーションを行った他、特別養護老人ホーム内部の行事には積極的に参加した。
- ② 利用者様のご希望が多い調理レクを行い喜ばれた。
- ③ 手作業を中心としたリハビリテーションを行い、作品を展示する等、達成感を味わうことができるよう工夫した。実施したリハビリテーションについては、機能訓練記録・作業記録簿に詳細を記入した。
- ④ 口腔機能を維持する為、食事前の口腔体操を実施した。
 - ・ 平成29年度に参加した行事については次の通り

4月	花見会
5月	新茶の会
6月	調理レク(たこ焼き作り)
7月	七夕・納涼祭
9月	敬老会
11月	寿司食べ放題
12月	クリスマス会
1月	お屠蘇配り・書初め
2月	節分
3月	ひな祭り

(4)衛生管理

- ① 感染症を予防するため、シーツ交換時にベッド周りの消毒を行った。また、毎週1回食器類の消毒を実施した。
- ② 感冒症状のある利用者様に対しては、居室の配置等の調整をする事で感染防止に努めた。